

きろくパスポート (6年生)

() 組 なまえ _____

言えた文・話した相手・じぶんからの質問。数字はきみのもの。くらべるのは、前のじぶんだけ。

いまの学期に○ → 1学期・2学期・3学期

きょうのきろく 帯・ペア活動・テストのあとに、自分で数を書こう (だいたいでもいい)

日づけ	何をした? (たんげん・かつどう)	言えた文	話した相手	じぶんからの質問

★のかいだん can-doリストを見て、いまの段に○と日づけ (まだのところは空けておこう)

できるようになりたいこと	いまの段	○をつけた日づけ
聞くこと	★1 ・ ★2 ・ ★3	
読むこと	★1 ・ ★2 ・ ★3	
話すこと [やり取り]	★1 ・ ★2 ・ ★3	
話すこと [発表]	★1 ・ ★2 ・ ★3	
書くこと	★1 ・ ★2 ・ ★3	

まだ言える? 前の学期の文でも、5年生のときの文でもいい。今日も言えたら日づけを

(1) 今日もう一回言えた日づけ: 月 日

(2) 今日もう一回言えた日づけ: 月 日

つかえた道具 使えたら□に✓ (何回使ってもえらい)

☐ Sorry? ☐ One more time, please. ☐ Me, too! ☐ Really?

☐ Nice!

この紙について ★は成績そのものではありません (評価は先生の観点に沿って行います)。じぶんの伸びを見つめるためのパスポートです。学期の終わりに先生に出します。

きろくパスポート（6年生）〔先生用〕

6年生（外国語科）用。can-doリスト（★の階段）が「目標」、この紙が「記録」です。回収は学期末の1回だけ。卒業前の3学期は、この紙の数字が「6年間の伸び」を本人に見せる材料になります。

回しかた 集めるのは学期末の1回だけ

- 1 学期のはじめに1人1枚配り、ファイルや教科書のうしろに入れさせる（掲示はしない——数字は本人のもの）。
- 2 帯・ペア活動・パフォーマンステストのあとに30秒だけ時間を取り、「きょうのきろく」に自分で数を書かせる。数はだいたいよい。となりと見せ合わせない。
- 3 ★のかいだんは、単元の終わりに can-doリストを見ながら○をつけさせる。まだ決められない領域は空欄のままでよい（空欄を埋めさせない）。
- 4 集めるのは学期末の所見を書く週に1回だけ。毎週は集めない——この紙は先生の点検簿ではなく、児童の持ち物。

聞く・読む・書くはどこで見えるか パフォーマンステストは話すこと中心——この3領域は場面と作品で見取る

領域	見る場面	記録が残る場所
聞くこと	Small Talk・聞き分け活動（Made in 聞き分けマップ・世界の国あてクイズ・思い出アルバム）	活動シートの仕分け・記入
読むこと	友だちの作品を読む場面（ポスターセッションの見学係・Made in マップ・思い出パネル）	活動シートに書き取った答え・見学メモ
書くこと	かきかたワークと作品の英文（ポスター・マップ・パネルの3～5文）	かきかたワークそのもの・作品の英文

学期末のよみとり——この3つだけ見る

- ① 「じぶんからの質問」が3つ以上の児童が学級の2割を超えたか（超えたら次の単元は即興の比重を上げる）
- ② 「言えた文」が学期を通して増えていない児童の番号（次の単元の間指導で最初に回る先）
- ③ ★のかいだんが全領域空欄の児童の番号（can-doの言葉が届いていない——個別に一緒に○をつける）

所見への接続

- ・所見はこの紙＋パフォーマンステストの記録シート（a/b/c）＋所見文例で書けます。パスポートの数字は「量の伸び」、記録シートは「質の到達」。
- ・「じぶんからの質問」が増えた児童は、所見文例のタグ「発展・★3」（やり取りの即興）がそのまま使えることが多い。
- ・数字が小さいこと自体は書かない。「前より増えた」「道具の✓が増えた」という向きだけを所見にする。

